



中学卒業！その後の進路には何が？



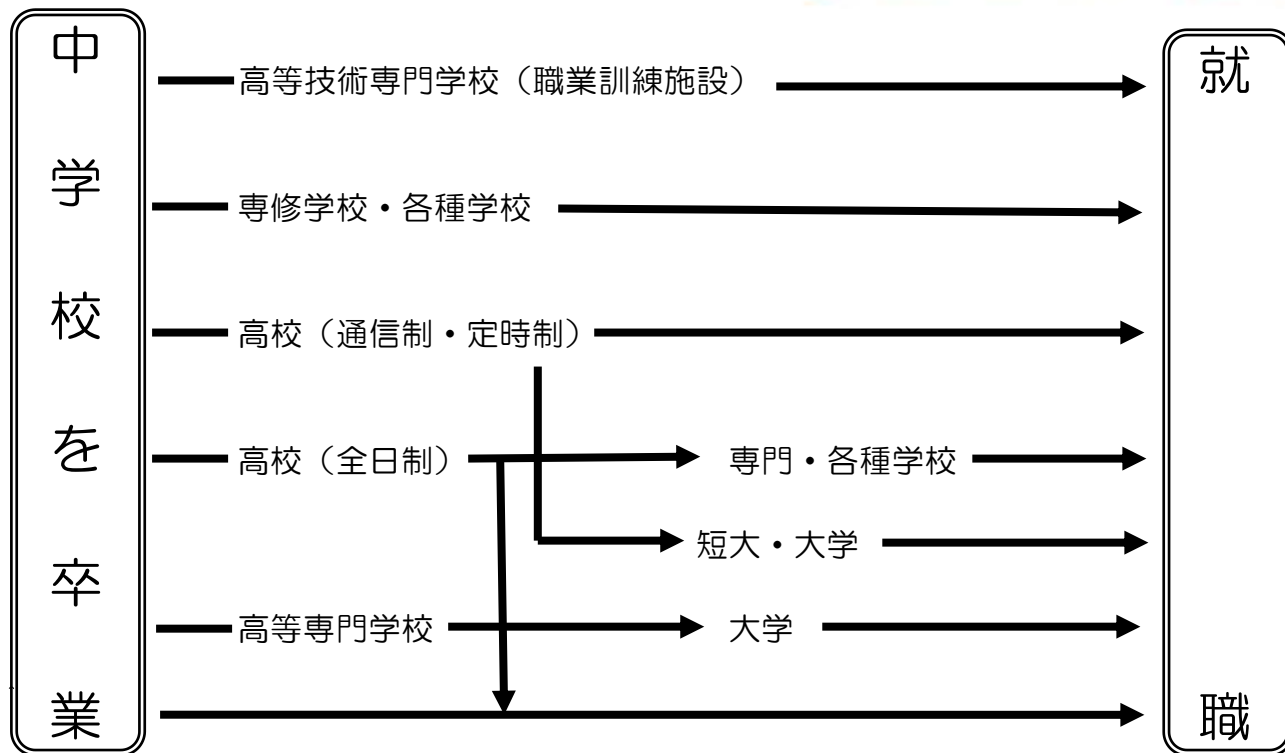
中学校までは義務教育です。そのあとは、就職して社会に出て行く人、高等学校や専修学校などの上級学校などで学ぶ人等、個人個人の進路に分かれていきます。今回は、中学校卒業後はどのような学ぶ機会や制度があるのかお知らせします。

中学校を卒業して学ぶには、

- 高等学校や専修学校で学ぶ
- 各種学校や職業訓練施設で学ぶ
- 働きながら定時制や通信制の高校で学ぶ



があります。



これらの教育機関や教育施設は、それぞれ教育目的が異なり、入学資格、修業年限、教育内容や終了後の資格などにも特色があるので、進路の学習の際に調べておきましょう。

高等学校とは異なり、さらに専門性を高めたい場合は、高等専門学校や専修・専門学校、各種学校といった教育機関があります。



奨学金を希望する皆さんへ

応援します！あなたの夢を！！



	あしなが育英会	交通遺児育英会
応募できる人は？	中学3年生で、高校又は高等専門学校に進学を希望していて、お父さんやお母さんが病気、災害(交通事故を除く)、自死(自殺)などで亡くなったり、重い障害で働けなかったりと、支援の必要な家庭の子どもが対象です。	中学3年生で、高校又は高等専門学校に進学を希望していて、保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害で働けないため、教育費に支援の必要な家庭の子どもが対象です。
成績は関係するの？	成績の良し悪しは問いません。その他の条件が合えば採用枠に関係なく全員を採用します。	学力は問いません。
奨学金額は？	国公立高校生・高専生 …月2万5千円 私立の高校生・高専生 …月3万円 私立学校入学一時金…30万円	(奨学金月額) 高校生・高専生 …2万円、3万円、4万円から選択 (入学一時金) 高校生・高専生 …20万円、40万円、60万円から選択
お金の返し方は？	20年かけて無利子で少しずつ返します。例えば、月25,000円を3年間借りると総額90万円になりますが、返すときは月4,000円で済みます。大学や専門学校に進学したり、生活が苦しいなどで返還が大変になった場合は、返還開始時期を先に延ばすことができます。	奨学金・入学一時金は、最終学校卒業後、6か月据え置いてから20年以内に無利子で返します。例えば月40,000円の奨学金を利用すると3年間で144万円になりますが、20年の月賦変換にすれば、返すときは月6,000円になります。(月3万円の利用だと月4,500円の返済)
他の奨学金も利用したいが…	日本学生支援機構など他の奨学金と同時に利用できます。	他の奨学金制度と併せて利用しても良い。
申込みはいつまで？	1次募集…7月22日(校内締切) 2次募集…12月4日(校内締切)	1次募集…7月22日(校内締切) 2次募集…1月15日(校内締切)

*上記の奨学金希望者は、学級担任に申し出て下さい。

*上記の奨学金の他にもあります(沖縄県国際交流・人材育成財団 奨学生募集 6月上旬×切)ので、学級担任を通して進路担当までご相談ください。